

試合番号 : 363	試合会場 : アダストリアみとアリーナ (東町運動公園体育館)	観客数 : 634		
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:54	試合時間 : 01:54		
主審 : 高橋 宏明	副審 : 津嶋 由香			
日立Astemoリヴァーレ	通算 5勝 8敗 ポイント : 15	18 第1セット 25 25 第2セット 18 18 第3セット 25 23 第4セット 25 第5セット	埼玉上尾メディックス	通算 8勝 5敗 ポイント : 24
監督コメント	本日もたくさんの方にご尽力いただき、大変ありがたく思います。勝利で感謝の想いを伝えたいのですが、一歩届きませんでした。明日は皆さんに勝利を届けたいと思いますので、この後の時間の使い方や気持ちの作り方など、明日に向けた準備をしっかり行います。明日もご声援よろしくお願いします。	1	3	日立の強さのあるスパイクに対し、山岸がディグで対応し、ブロックのポジションも良く、スパイクミスを防ぐことができた。攻撃面でも長いラリーを打ち切ったことにより、流れをつかむことができた。明日の試合もスタートを良くするため、しっかり分析して臨みます。
要約レポート	ホームゲームを勝利で飾りたい日立Astemoリヴァーレと埼玉上尾メディックスの一戦。第1セット、埼玉上尾はロレンネと佐藤を中心に攻撃を展開しリードを奪う。日立Astemoは上坂のスパイクとブロックの得点で追いつきを見せるが、埼玉上尾は内瀬戸のスパイクとサーブで突き放し、セットを奪った。第2セット、日立Astemoがトップと長内のスパイクでリードを奪う。埼玉上尾は佐藤、内瀬戸を中心に攻撃を組み立てて応戦するが、日立Astemoが押し切りセットを奪った。第3セットは中盤まで一進一退の攻防が続く。その後、埼玉上尾がロレンネのサービスエースで流れを掴み、勢いそのままにセットを奪う。第4セット、埼玉上尾が佐藤を中心に攻撃を展開し、リードを奪う。流れを変えたい日立Astemoは、選手交代を行い反撃を試みるが、的を絞らせない攻撃を展開した埼玉上尾がセットを奪い、勝利を収めた。			

試合番号 : 364	試合会場 : とどろきアリーナ	観客数 : 1,770		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:33	試合時間 : 01:33		
主審 : 渡部 菜保子	副審 : 増岡 三佳子			
NECレッドロケッツ	通算 10勝 3敗 ポイント : 28	21 第1セット 25 22 第2セット 25 22 第3セット 25 第4セット 第5セット	PFUブルーキャッツ	通算 8勝 5敗 ポイント : 22
監督コメント	ホームゲームに足を運んでいただき、また、V、TVとSNSで応援していただきありがとうございます。勝利することはできませんでしたが、どんなに劣勢の時も応援が背中を押していただきとても力になりました。ありがとうございました。ゲームを通してサーブや3本目の精度が上がらず、常に追う展開となる苦しいゲームとなってしまいました。見つけた課題をひとつでも多く修正し、今日の悔しさを明日にぶつきたいと思います。明日も熱い応援よろしくお願いします。	0	3	まずは、このような素晴らしい環境で試合をさせていただいたことについて、NECの皆様へ感謝します。現在リーグ2位のNECを相手にどれだけ戦えるか始まる前から楽しみにしていました。結果として勝利できたことはとても喜ばしいことではありますが、選手一丸となって試合に挑めたことが良かったです。本日でもたくさんの方の応援をいただきありがとうございます。
要約レポート	NECレッドロケッツがPFUブルーキャッツをホームに迎える対戦。第1セット序盤、NECは柳田、PFUはバルデスがスパイクを決め、競った展開になるも、中盤からPFUは鍋谷のサービスエース、志摩のブロックが飛び出し、流れをつかむ。NECも粘りのバレーを見せるが、最後はPFUが振り切ったセットを取った。第2セット、NECは山田、曾我のスパイクが決まりリードするが、PFUもジャン、バルデスが要所で確実にスパイク決め、ジリジリと差を詰めて逆転。NECは古賀を投入し、流れを戻そうとしたが再逆転するに至らず、PFUがセットを連取した。第3セット、NECは野嶋がブロック、スパイクを次々と決め、一時は完全に抜け出したが、PFUはバルデス、ジャン、鍋谷がアタックの決定力を見せて逆転。そのままPFUがセットを取り、ストレートで勝利した。			

試合番号 : 365	試合会場 : 黒部市総合体育センター	観客数 : 950		
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:31	試合時間 : 01:31		
主審 : 佐々木 伸子	副審 : 西山 尚幸			
KUROBEアクアフェアリーズ	通算 1勝 12敗 ポイント : 3	25 第1セット 19 25 第2セット 20 25 第3セット 22 第4セット 第5セット	トヨタ車体クインシーズ	通算 0勝 13敗 ポイント : 0
監督コメント	ホームでリーグ初勝利を目指して、モチベーションを高めて臨んだゲームでした。最終サーブで攻めることを徹底し、優位にゲームを進めることができました。第3セットもリードされた苦しい場面でもサーブで崩し、流れを引き寄せることができました。まだまだラッツ選手、コクラム選手の個人技に頼るケースが多々ありますので、修正し、明日の2戦に備えたいと思います。今後ともご声援よろしくお願いします。	3	0	どうしても勝ちにつなげたい一戦を落として非常に残念です。明日はもう一度気を引き締めて、持てる力を全て発揮したいと思います。このような状況でも変わらず応援してくださる皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。各地からの応援ありがとうございます。
要約レポート	今シーズン未だ勝利だけでなく、ポイントも挙げられていない高チーム。11位のトヨタ車体クインシーズと12位のKUROBEアクアフェアリーズの対戦。身長206cmのKUROBEラッツが強烈なホームデビューを飾った。第1セット序盤、KUROBEが相手のミスにも乗じ、コクラムのスパイクなどで11-5とリードし主導権を握って中盤へ。トヨタ車体は鳴原のスパイク、杉原のブロックなどで徐々に得点を重ね17-17と追いつく。しかし、そこからKUROBEはコクラムのスパイクなどで4連続得点し突き放すと、最後はラッツが強烈なスパイクをコートに突き刺し、セットを先取した。第2セット、KUROBEが先行するも、トヨタ車体が徐々に得点を重ね、中盤に逆転する。しかし、KUROBEは12-13から途中出場した浮島が連続得点し逆転すると流れを掴む。20-18からラッツの真下に落ちるブロックと、スパイクの3連続得点でトヨタ車体を突き放し、セットを連取した。第3セット序盤、トヨタ車体はケルシーのスパイク、数回のサービスエースなどで11-5とリードし、流れを掴んだかに見えたが、KUROBEはコクラム、ラッツのスパイクなどで二度の3連続得点で追いつくと、その後も三度の3連続得点でリードを広げる。トヨタ車体も19-24からケルシーが意地の3連続スパイクを決めるも追いつくことができず、KUROBEが今シーズン初勝利を挙げた。			

試合番号 : 366	試合会場 : 黒部市総合体育センター	観客数 : 1,050		
開始時間 : 14:30	終了時間 : 15:57	試合時間 : 01:27		
主審 : 森口 豊	副審 : 沢田 元			
JTマーヴェラス	通算 12勝 1敗 ポイント : 36	25 第1セット 17 26 第2セット 24 25 第3セット 22 第4セット 第5セット	岡山シーガルズ	通算 3勝 10敗 ポイント : 11
監督コメント	年内最後となるリーグ戦。対戦する岡山シーガルズは、粘りのあるチームで、攻守の準備が速い。私たちは相手よりもハードワークすることが求められるチームとなった。中盤、自分達で得点を取ることができずリードされることもあったが、チームの総合力で勝ち切る事ができた。自分達の集中力を高め、目の前の1点をしっかりと取りにいきたい。本日はありがとうございます。	3	0	中盤までは全員バレーでミスが連続することが少なく展開できたが、20点以降、詰めの段階でのオフェンスにもうひとつ工夫必要だったように思う。特に、第2、第3セットは、チームの呼吸がきちっとできればチャンスがあった。若手選手が成長していく中、明日の今年ラストゲームでできることをきっちり仕上げたい。本日は寒い中、遠方より応援に駆けつけてくださった方々、またリモートで応援してくださった皆様、ありがとうございます。
要約レポート	現在首位のJTマーヴェラスと9位の岡山シーガルズの対戦。第1セット序盤、JTは西川のスパイク、ブロックなどで12-8とするも、岡山は佐藤、金田のスパイクで4連続得点し同点とする。しかし、ここからJTはドルーズのスパイク、タツダオのブロックなどで二度の3連続得点を決めると、流れを掴み終盤へ、最後は西川、ドルーズのスパイクなどで4連続得点し、JTがセットを先取した。第2セット、岡山はセッターを宮下から小野寺に代えて挑む。このセットは終盤まで1点差を争う接戦となる。岡山は22-23から及川のスパイクとJTドルーズのスパイクミスで先にセットポイントを掴む。しかし、JTはここから西川、ドルーズのスパイクで3連続得点しセットを連取した。第3セット、このセットもJTが先行し、岡山が追いつける展開となる。岡山が17-21から及川、佐藤のスパイクなどで連続得点を重ね22-22と追いつく。しかし、この場面でもJTは途中出場の田中のスパイク、タツダオとヒックマンの連続ブロックで3連続得点し、岡山を退けた。岡山はストレートで敗れたものの、リベロ岩崎を中心とした粘り強い守備に会場は大きな盛り上がりを見た。			

試合番号 : 367		試合会場 : 愛ドーム (岐阜メモリアルセンター)				観客数 : 1,043				
開始時間 : 15:00		終了時間 : 17:04		試合時間 : 02:04		主審 : 内藤 聡美		副審 : 城 智人		
東レアローズ		通算 10勝 3敗 ポイント : 31		30 第1セット 28		デンソーエアリービーズ		通算 9勝 4敗 ポイント : 26		
監督コメント 1点を争う苦しい展開ではありませんでしたが、集中力を切らさず、勝ち切ることができた大きな1勝かと思えます。明日に向けてまたしっかりと準備をして粘り強いバレーを展開したいと思います。岐阜県で初めてのホームゲームで、たくさんの方々にご声援をいただき感謝いたします。本日はありがとうございました。	3	21 第2セット 25		1	監督コメント セットの序盤はリードすることができましたが、後半に逆転される展開が多かったです。後半の得点源を作るように、自分達で点数を取る展開を作るように、明日に向けて準備をしていきます。応援してくださった方々のためにも、明日は勝ち切る姿をお見せできるように頑張ります。今日はありがとうございました。		25 第3セット 22			
		29 第4セット 27								
		第5セット								
要約レポート 互いに連勝して岐阜の地へと乗り込み、さらにポイントを重ねて上位チームを猛追したい東レアローズとデンソーエアリービーズの一戦。第1セット、高い攻撃力を武器に、両チーム共に激しく点を取り合う展開。東レはクラン、デンソーはアコスタを核に得点を重ねていく。セットポイントを握ったデンソーに対して、東レは石川のアタックでしのぎ、最後はクランのアタック、関のブロックでセットを奪った。第2セットはデンソーが主導権を握り、じわじわとリードを広げる。東レは要所で石川がアタックを決めて踏ん張り、簡単には突き放されず必死に食い下がる。終盤、デンソーは兵頭、アコスタが着実にアタックを決め、粘る東レを振り切り、セットを取り返した。第3セット、序盤から競り合う中で、東レは中田のサーブを起点に中盤から一気にデンソーを引き離しにかかる。対するデンソーは相手のミスもあり、終盤までじわじわと東レを追いつめたが、勝負どころで投入された西川が躍動した東レがこのセットを取った。第4セット、一進一退の攻防を繰り返す中、デンソーは兵頭、東レはクランがアタックでチームを鼓舞する。勝負の行方は20点以降にもつれ込み、第1セット同様、息詰まる熱戦となるが、クラン、石川が最後まで強気で攻めきった東レがホームゲームで勝利を収めた。両チーム共に観客席からの大応援を受け、堅い守りを打ち破ろうとする力と技のぶつかり合いから白熱したゲームとなり、明日の対戦が楽しみになる一戦であった。										

試合番号 : 368		試合会場 : SAGAプラザ総合体育館 (佐賀県総合体育館)				観客数 : 763				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:17		試合時間 : 02:17		主審 : 吉岡 奈々		副審 : 富田 博一		
久光スプリングス		通算 8勝 5敗 ポイント : 26		23 第1セット 25		ヴィクトリーナ姫路		通算 4勝 9敗 ポイント : 12		
監督コメント 年内最後のホームゲームを2連勝で終えたかったが、悔しい結果となった。第1、第2セットはうまくチームが回らず、落とすこととなった。後半に入りディフェンス、オフENSEを改善し、セットを連取することができた。しかし、取らなければならない1点を取ることができず、勝ち切ることができなかった。明日に向けて、これからの時間を有意義に使い、準備していきたいと思う。本日は寒中、たくさんの方々の応援ありがとうございました。引き続き、応援よろしくお祈りします。	2	23 第2セット 25		3	監督コメント 先週の2試合連続フルセット負けという悔しい試合を経て、今週の試合に向けて良い準備、良い練習ができたことが今日の勝利に繋がったと思います。内容面ではまだまだ課題も多いですが、勝ち切れたことは大きな成長だと思えます。明日で年内のリーグ戦は最後になります。今日やりきれなかった部分は明日改善できるよう、また良かった部分を更に継続してできるように今からしっかりと準備したいと思います。アウェイではありましたが、多くのファンの方々に応援いただき、大変感謝しております。明日も応援よろしくお祈りします。		25 第3セット 16			
		25 第4セット 23								
		12 第5セット 15								
要約レポート 第1セット、序盤から久光スプリングス、ヴィクトリーナ姫路ともに主導権を譲らず、一進一退の攻防が続く。終盤、姫路は粘り強いレシーブで長いラリーを制して流れを掴むと、最後は佐々木の攻撃が決まり、セットを先取した。第2セット、姫路はサーブが走り序盤からリードする。久光は濱松、今村らのスパイクで一時的につく粘りを見せたが、最後は姫路・田中の攻撃が決まりセットを連取した。第3セット序盤、久光は中川の連続得点で主導権を握ると、優位に試合を進める。中盤以降も久光は随所でブロックポイントを取り、セットを取り返した。第4セット、両チームともに流れを譲らずサイドアウトの応酬が続く。中盤、久光は井上(愛)が連続得点を挙げると、その後も次々に長いラリーを制し、主導権を握る。終盤、姫路はブラクのスパイクで追い上げを見せるも、久光は井上(愛)のスパイクが効果的に決まり、勝負の行方は最終セットに持ち込まれた。第5セットも白熱したラリーが続く、8-6姫路リードで折り返す。久光は平山、アキララデウォの連攻が決まり一時同点に追いつくが、終盤、姫路はブラク、孫田の活躍でフルセットの大熱戦を制した。										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント		第2セット		監督コメント	第3セット				
		第4セット							
		第5セット							
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント		第2セット		監督コメント	第3セット				
		第4セット							
		第5セット							
要約レポート									